



いきいき弥小っ子

子どもに関心を向ける

弥彦小学校 校長 石黒 和仁

ある朝、中学年の女子が「あ、校長先生、新しい服だ」と言ってくれました。その日は、よく着用する黒や紺系とは違うグレー系のスーツを着ていたのです。とてもうれしく、幸せになりました。私に関心をもってしてくれたこと、そして、そのことを表してくれたことに、です。すてきな子どもたちです。



毎朝の風景。野菜に関心を向ける子ども。

自分に関心をもってほしい、子どもたちはその気持ちが強く、大きいと思います。関心とは、愛であり、適切な関わり方です。普段からされていることとは思いますが、目を離さず、変化や変容を見逃さず、必要に応じて声をかけ（良い出しとダメ出し）、手を出して（援助）ください。特に夏休みは、家庭や地域に子どもが帰ります。よろしくお祈りします。

にいがた連携講座 第2回（7月7日）

親から子へ愛のメッセージ ～社会問題を心理学で読み解く～

新潟青陵大学 教授 碓井真史 様

「ほめて育てる」が基本。しかし、結果だけをほめると子供のチャレンジ心がしぼむ。何でもほめたり、子供を操るためにほめたりすると、子供は弱い子になる。子供には「癒しの場」（ありのまま）と「活躍の場」（懸命に頑張る）が必要。

愛は押し付けでも甘やかしてもない。子供を無条件に愛することを土台として、子供に高い目標を与え、その目標に近づく方法を親切に教え、厳しさと共に結果だけでなく頑張っている姿勢をほめ、支援を惜しまない。そんなメッセージを届けられる親が、子供を成長させる。（配付資料の抜粋）

ゲーム等はほどほどに ～ルールを決め、守る・守らせる～

7月1日、全校朝会にて、恒例の振り返り。「早寝・早起き・朝ごはん、あいさつ、命を守る」に加えて「ゲームは？」と問うと、最高に元気な声で挙手。やっていますとのこと（苦笑）。「ほどほどに」と指導しました。

コンピュータ業界の創始者である、Windows のビルゲイツや Apple のスティーブ・ジ

ヨブスは、自分の子どもにはネットやスマホをさせなかったことは有名な話です。害をよく分かっていたのです。

調子がよくない子どもは、ゲーム依存率が高い傾向があります。逆に、ゲームを控えたことで調子が良くなった子どもがいます。ゲーム等のルール（時間、場所、方法）を決め、守ること・守らせることが、何よりも大事です。親がゲーム等にフィルタリングや使用規制を設定することもできます（詳細は職員にお聞きください）。

子どものためにも、ゲーム等のルール決めと遵守を必ずしてください。これも子どもへの関心の一つだと思います。

夏休みは「1人1チャレンジ」中心で

夏休み期間が短くなること、子どもの主体的な取組が求められている等を踏まえ、今年度、夏休みの共通の課題（宿題）は、昨年に比べて3割ほど減らしました。大事なのは、各自の興味・関心に基づく「1人1チャレンジ」です。夏休みだからできること、夏休みにしかできないことに取り組んでほしいと思います。担任は、個々に相談にのります。学校からの案内、各種チラシ、ポスター等を参考に、保護者の皆さんも子どもと話し合い、決めて、取り組むよう働きかけてください。

最後の自転車大会・・・

6月22日（土）、黒崎地区総合体育館で、交通安全子ども自転車新潟県大会が行われました。弥彦小からは12名の選手が参加しました。短期間での練習ではありましたが、朝練習を行ったり、家庭学習を行ったりして大会に臨みました。そして、全員で力を合わせて競技し、すばらしいがんばり、結果でした。

☆団体の部 準優勝 弥彦Aチーム

☆個人の部 第5位 6位 9位 10位 学科優秀賞

弥彦小学校の自転車部は、連続で全国大会に出場したこともある伝統と歴史のある部でした。寂しさを感じつつも、未来を見据えて、静かに自転車部の活動を閉じたいと思います。ご理解、ご協力ありがとうございました。

